



J. F. OBERLIN

## 桜美林大学 ニューイヤー・チャリティ・コンサート

J.F. Oberlin University New Year Charity Concert



# MESSIAH

G.F. ヘンデル

“メサイア”

2014.1.11(sat) 18:00 開演 (17:00 開場) 杜のホールはしもと (ミウヰ橋本7階)

指揮：横山正子 ソプラノ：小林玲子 アルト：上杉清仁 (カウンターテノール) テノール：植木紀夫  
バス：初鹿野剛 合唱：桜美林大学クワイヤー 管弦楽：グローリア室内管弦楽団

**Ticket: 全席自由 1,000 円**

東日本大震災被災地復興支援として、全額が下記に寄付されます

▶ 陸前高田市役所 ・ 大船渡市役所 ・ 石巻市役所

[チケット取扱] 京王観光(株) 町田営業所 (桜美林大学内ファミリーマート旅行カウンター)、  
イープラス (Web またはコンビニを利用) 11月20日販売開始予定

主催：桜美林大学 後援：相模原市、町田市 お問い合わせ：桜美林大学インフォメーションセンター ☎042-797-1583(9時~17時)

## 桜美林大学クワイヤー J.F. Oberlin University Choir

2002年4月に大学聖歌隊として発足した。さまざまな専攻の学生、卒業生が集い、週2回の練習を重ねている。大学の礼拝、入学式、卒業式をはじめとする式典で奉唱するほか、教会や施設での演奏、大学祭や各シーズンのコンサート活動を行う。2003年より、クリスマスシーズンに「メサイア」の演奏会を開催するようになり、そのクオリティの高さは学内のみならず市民の方々からも絶賛されている。2006年より日本各地への演奏旅行を開始し、その歌声は各地で話題を呼び、TVや各メディアで取り上げられた。2009年、CD「帰ろう、わが家に—桜美林大学クワイヤー愛唱歌集」をリリース、大きな感動を呼んだ。効率的な練習で培われたのびやかな声、安定したハーモニーが特徴である。2013年度より上杉清仁氏をヴォイストレーナーに迎え、歌声にはさらに磨きがかかった。レパートリーはルネサンス無伴奏聖歌、バロックからロマン派に至る合唱曲、英語アンセム、現代曲まで幅広い。2013年にはセカンドアルバム「Adeste Fideles—桜美林大学クワイヤー クリスマス聖歌集」を発売した。

## Players

### 小林玲子 (ソプラノ) Reiko Kobayashi

名古屋芸術大学声楽科卒業、ミラノ、ヴェルディ音楽院声楽科を優秀な成績で卒業。ヴェルディ国際声楽コンクール入賞、エンナ国際音楽コンクール声楽部門第一位、プッチーニ国際声楽コンクール第一位。1983年ドイツ・フルト劇場で「蝶々夫人」のタイトルロールを歌いヨーロッパデビュー。各国で「蝶々夫人」のタイトルロールを67回、「ラ・ボエーム」のミミ役を10回講演し好評を得る。チューリヒ、ナントゥ州劇場などヨーロッパの伝統ある劇場での公演も多い。また宗教音楽にも意欲的に取り組み多数の演奏会に出演。桜美林大学芸術文化学群教授。日伊音楽協会会員、日本演奏連盟会員。

### 上杉清仁 (カウターテノール) Sumihito Uesugi

高知大学文学部卒業。同大学院教育学研究科修了。東京藝術大学大学院修士課程、博士後期課程を修了し博士号(音楽)を取得。スイス・バーゼル音楽大学・スコラカントルムに留学し、ゲルト・テュルク、アンドレアス・ショル両氏のもとで研鑽を積む。しなやかで柔らかい美声と的確な解釈による多彩な表現には定評があり、日本を代表するカウターテノール歌手として活躍している。また、発声学や発声解剖学にも造詣が深く、発声指導者としても好評を博している。バッハコレギウムジャパン、声楽アンサンブル『ラ・フォンテヴェルデ』メンバー。桜美林大学芸術文化学群兼任講師。桜美林大学クワイヤーヴォイストレーナー。ミュージアム音楽院講師。日本声楽発声学会会員。

## グローリア室内管弦楽団 Gloria Orchestra

コンサートミストレス：村井陽子／第一ヴァイオリン：吉川秋子、知見寺武／第二ヴァイオリン：樋口美佐子、五味陽子／ヴィオラ：高瀬有美、堀江冬子／チェロ：松井洋之／コントラバス：駒井朗／オーボエ：山口卓郎、池田祐子／ファゴット：榎本眞理／トランペット：山本英助、川田修一／ティンパニ：船迫優子／チェンバロ：堤ゆり

## 横山正子 (指揮) Masako Yokoyama

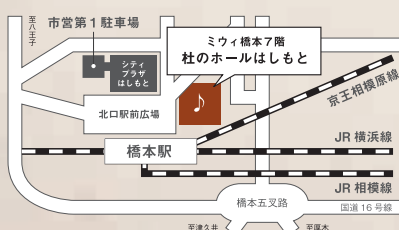
オルガン新人演奏会でオルガニストとしてデビュー、首都圏の各ホール、欧米各国において数多くのコンサートを行う。また、コダーイ「オルガン賛歌」、ペーテルス「ミサ・フェスティヴァ」(ベルギー大使館後援)など多くの本邦初演を含む合唱曲、オーケストラ作品のオルガンパートを担当してきた。ソロCD『メンデルスゾーン・オルガン作品集』(ビクター)は「音楽の友」推薦盤に選ばれた。また、数々の合唱団体の指導・伴奏をつとめ、宗教音楽演奏に取り組んできた。2007年と2008年、英国王立教会音楽学校セミナーに招かれて参加。2011年9月より一年間、エディンバラ大学客員研究員として渡英。プロテスタント圏のオルガン建造と使用についての研究を進めるかわら、エディンバラ大学オルガニスト、Old St. Paul's Church コリスターとして活動した。現在桜美林大学教授、桜美林大学クワイヤー常任指揮者、同大学オルガニスト。

## 植木紀夫 (テノール) Norio Ueki

東京藝術大学声楽科卒業。その後ドイツ・ヴュルテンベルク州教会立教会音楽大学及び大学院にて7年間教会音楽を学び、国教会カントールとしての研鑽・訓練を積む。在独中エスリングゲン市ツォルベルク国教会のカントールを務め、国教会合唱長兼オルガニストとして活動。また声楽ソリストとして南ドイツ各地のカンタータ・オラトリオ演奏会に多数出演。2000年、同大学院修了試験において声楽及び合唱指揮法を最優秀で修了し、教会音楽家A級ドイツ国家資格(カントール)を取得し帰国。帰国後は合唱指揮者、宗教曲ソリスト、礼拝オルガニストとして教会音楽の立体像に取り組んでいる。声楽を原田茂生、高文二、B.アーベル、R.ヤクチシュの各氏に師事。現在、桜美林大学芸術文化学群音楽専修准教授、立教大学文学部キリスト教学科兼任講師。

## 初鹿野剛 (バス) Takeshi Hatsukano

東京藝術大学ならびにドイツ・カールスルーエ音楽大学から修士号を授与される。文化庁派遣芸術家在外研修員。ドイツ・ヴァーグナー奨学財団奨学生。「芸大メサイア」の独唱者として楽壇にデビュー以来、コンサートにおける交響曲・宗教曲の独唱者として活動を開始。その後、オペラの分野においてもドイツ、日本では新国立劇場・日生劇場・兵庫 PAC・東京二期会等の各プロダクションで活躍。五島記念文化賞オペラ新人賞、藤沢オペラコンクール第一位・福永賞等受賞多数。現在、桜美林大学芸術文化学群ならびに常葉大学非常勤講師、立教女学院短期大学非常勤助手。静岡音楽館 AOI 市民会議委員。二期会会員、日本演奏連盟会員。



## Access

公共交通機関でご来場の方へ

JR 横濱線・相模線、京王相模原線「橋本駅」  
北口を出て右側「ミウイ橋本」7階

お車でご来場の方へ

ホールご来場者用の駐車場はございません。ホール隣接の「市営橋本駅北口第2立体駐車場」は30分150円でご利用頂けますが、混雑する場合もございますので公共の交通機関をご利用ください。

お問い合わせ

桜美林大学インフォメーションセンター ☎042-797-1583(9時~17時)

## Ticket

全席自由席 1,000円

東日本大震災被災地復興支援として、  
全額が下記に寄付されます

・陸前高田市役所・大船渡市役所・石巻市役所  
チケットのお求めはこちらから

京王観光(株) 町田営業所(桜美林大学内ファミリーマート旅行カウンター)、イープラス(Webまたはコンビニ利用)  
11月20日販売開始予定